



### 3. その他自由意見（ご意見をいただきたいポイント）

- ・避難所運営マニュアル（標準版）について  
新たなマニュアルの内容は理解しやすいか（分かりにくい箇所があれば記載してください）。
  - ・避難所運営テキストについて  
必要な項目が網羅されているか、また、不要と思われる項目があるか。
  - ・ファーストアクションカードについて  
実際に避難所解説の際に使えるものとなっているか など
- 記述式回答：

### 3 避難所運営委員会からの意見

現時点で各避難所運営委員会から提出があった意見は別紙のとおりである。今後提出される意見も踏まえ、区においてマニュアルの再修正を行い、9月に確定する予定である。

なお、確定するマニュアルは、地域や学校・施設の実情にあわせ、各避難所運営委員会が独自のマニュアルを作成するときの参考としていただくものである。

### 4 関係団体等による意見の反映について

#### （1）障害者団体

本年5月に、世田谷区障害者福祉団体連絡協議会において、区の避難所運営の取り組みについての意見交換を実施した。9月のマニュアル確定までに再度意見交換を行い、要配慮者の支援にかかわる見直し等を反映していく。

<意見交換であがった主な意見>

- ① 災害時に情報が収集できるか不安
- ② 在宅避難にかかる家屋の診断方法が知りたい
- ③ 避難生活時に定期薬が確保できるか不安

#### （2）その他、ボランティア団体等

下記団体においては、これまで指定避難所運営見直し検討PTを立ち上げ、見直しにあたって意見を抽出・反映してきた。今後のマニュアルの再修正にあたって、引き続き、検討PTや情報連絡会の開催等により意見を照会し、反映していく。

○世田谷ボランティア協会

○世田谷区社会福祉協議会

○せたがや防災NPOアクション

○せたがや女性防災コーディネーター

### 5 今後のスケジュール（予定）

令和5年	6月～	避難所運営マニュアルの再修正
	9月	避難所運営マニュアルの確定・発行
	10月～	各避難所運営委員会での避難所運営マニュアルの活用

## 令和5年6月時点における避難所運営委員会から提出された主な意見

## 1 避難所運営委員会における課題と見直しの効果について

## (1) これまで避難所運営委員会で課題となっていたこと

- 避難スペースが限られている中、色々な事情を抱え避難されてくる方々をどのように区分して収容していけば良いか。特に生徒が在学時に対応できるか課題である。
- 避難所運営委員の権限と責任範囲が不明確。
- 避難所、在宅避難についての地域住民への啓発。
- 受水槽や雨水槽の場所、使用方法について学校側と共に知っている必要がある。
- 構成員の高齢化、参加者不足。

## (2) マニュアルの見直しにより解決できると考えられること

- 避難所開設の判断基準、立ち上げ方法。
- 建物の安全点検。
- トイレの使用可否の判断。
- 避難所運営に携わった住民のケガや病気への補償に関する不安。
- ボランティア・NPO等との連携による体制の強化。

## (3) 課題の解決のために、新たなマニュアルで示してほしいこと

- 給水、排水について、もっと具体的に示してほしい。
- 受水槽や雨水槽の場所、配管図、非常の通電の仕方、給水弁開閉の方法などがわかるような図面が必要。
- 避難者受け入れ時の優先順位のつけ方。
- 他自治体とのマニュアルの比較・検討が必要。
- 物資の受け入れ、配給方法。

## 2 その他（自由意見）

- 初動ボックス、ファーストアクションカードにより、発災直後の初動期手順が分かりやすくなった。
- 子どものスペース（特に遊び場）や性的マイノリティの方へのスペースの必要性は十分理解できるが、元々の収容人数が限られており、設置が難しいと思う。
- 全体としてチェックシート形式で見やすく、分かりやすい工夫がされている。
- マニュアルの内容は網羅されていると思う。あとは各避難所で柔軟な対応が必要。
- データ等が豊富で、ためになるが読み解くには時間と労力がかなり必要。マニュアルの簡素化をしてもらえば委員全員の教材となると思う。